日時	平成 30 年 10 月 26 日(金) 14 時 40 分から 15 時 20 分まで
	` <i>`</i>
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	(1) 光が丘図書館(以下「光」)光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員(3)事業統括係長、子供事業統括係長(2) 南大泉図書館指定管理者(日本コンベンションサービス株式会社)(以下「南大」)南大泉図書館長、同館業務従事者(2) 本社スタッフ(2)
内容	施設管理について (光)7月に設置した図書館入口スロープのセンサーライトについて (南大)設置した場所は、街灯が少し遠いため夜間は足元が暗くなってしまう。人が転んでしまったことは今まで無いが、安全対策の一環として設置した。 (光)8月の図書館駐輪場での利用者自転車のパンクに係る苦情について (南大)駐輪場の一部は防犯カメラに映るが、全エリアは網羅できていない。また、常に外に職員を配置することも難しい。そのため、スタッフに周知し巡回を強化して注意をしている。 (光)来館者数と利用者数について、昨年より減っていることについて何か理由はあるか。 (南大)南大泉図書館まで行かなくても、大泉学園駅の受取窓口で本の予約・受取りができたり、インターネット上での予約ができたりするため、そちらの方の利便性が高い。わざわざ図書館に行こうと思う人が少なくなっていることも理由の一つだと考えられる。 (光)8月の集中豪雨により、1階の児童室を中心に浸水があったことについて (南大)短時間に大量の雨が降ったため、建物の樋の排水口に強い水圧がかかり、館内に雨水が逆流してきたものと思われる。逆流することはこれまで無かったが、今後の事態に備えて吸水シートを大量に購入した。今後は天気予報等を注視し、短時間に大量の雨が降ることが予想される際には、排水口に吸水シートを設置するなどして早めに対策を講じられるようにしたい。 職員体制・会計収支について (光)利用者からの暴力行為等を未然防止するための方策、研修について (南大)4月に危機管理研修を実施し、館内に暴漢が入ってきたときの対応について確
	認した。 (光)最近、他館で利用者がスタッフに暴力を振るうということも起きている。気を付けていただくとともに、研修等の充実も図ってほしい。 (南大)承知した。 (光)8月の会計収支で、「保険料 その他」に計上した項目について (南大)屋外で事業を実施した際のレジャー保険料を計上している。
	一般事業について (光)6月から実施している「南大泉図書館 25 周年記念ブックカバー」について

(南大)9月末時点で239セット配布した。開始1か月前からポスターを掲示したところ問合せ件数が多く、当初500セットでは足りないかと思ったが、現段階では想定よりも数が残っている。実施前に館内等にポスターを掲示していたが、その掲示期間が長すぎたことが原因ではないかと考えている。

(光)7月の「こどもの薬の飲みかた」について、南大泉図書館分室での実施ということだが、子供連れの父母が対象か。

(南大)当日来ていたのは普段からひろばを利用している方がほとんどで、母親の単独参加が多かった。昨年の利用者懇談会・利用者アンケートで、「ひろばで保護者向けの事業を増やしてほしい」という声を受け実施に至った。講師は図書館スタッフの知り合いの薬剤師の方に依頼をした。

(光)9月の「学びの講座 大人のためのブックトーク」について、参加者が少ない理由は。 (南大)座談会のように、参加者からも発信してほしいと思い企画した。テーマを「都市伝説について語ろう!」としたところ、参加者が自ら話をする講座との誤解を与えてしまい、参加を控える方が増えたと思われる。

児童・青少年サービス事業について

(光)7月の『夏休み学習支援スペシャル 音楽編「ドラムをたたいてみよう」』について (南大)春日町青少年館と共同で実施した。南大泉青少年館の音楽室のドラムセットを 使用し、普段ドラムの調律をしている方に講師を依頼した。受付を図書館で行った際、受 付にドラムの関連本を展示して貸出しを促した。

(光)英語でおはなし会について

(南大)子供たちが視覚的な変化を感じてなるべく飽きないよう、パネルシアター等を 導入して工夫した。今年の夏は特に暑かったが、多くの方に参加していただけた。会場が 手狭になってしまうため、保護者は後ろで立って見学をしていただき、"おはなしのへや" に子供ができるだけたくさん入れるようにした。

(光)8月の「ミニおはなし会スペシャル わくわくひろばっこ」について

(南大)"夏休み中、ひろばに行けば何かやっている"をコンセプトに8月は毎日実施した。毎日事業を継続することは時間と手間もかかり大変だったが、スタッフが自ら手品を披露するなどし、参加した子供達に楽しんでもらえるよう工夫した。

(光)子供の読書推進を図るための保護者への啓発について

(南大)夏休みに学習支援用コーナーを作り、カードを使って本を紹介したり、工作コーナーに実際の工作物を置くなどして、来館した親子が「読んでみたい、楽しそう、これやってみたい」と思うような場所が提供できるようにしている。

(光)例えば、本の探検ラリーは保護者の協力が必要なため、準備は大変だが、終わった後の感想は好意的な意見が多い。読書支援に有効なので、多くの学校にやっていただけると良い。

(南大)承知した。